



株式会社ビーアンドピー

2020年10月期 第1四半期 決算説明資料

証券コード 7804

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
さまざまな要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

業績

売上高 **659**百万円 営業利益 **65**百万円

業績のポイント

計画の範囲内で進捗

- 前年同期の売上高は、大型の販売広告案件があり例年よりも多額であったため、当第1Qは前年同期に比べ減収。
- 営業利益は、売上の減少による影響に加え、営業人員の増強による人件費の増加、前年同期にはなかった外形標準課税額の新たな増加等があり、前年同期比で減益。
- 当期計画では第2Q以降に生活資材・製品制作の受注が活発になる予定であり、また第1Qにおける前期比増加の経費は計画に織り込み済みであるため、当期業績はほぼ想定の範囲内で進捗。

2020年10月期第1四半期 P/Lサマリー



(単位：百万円)

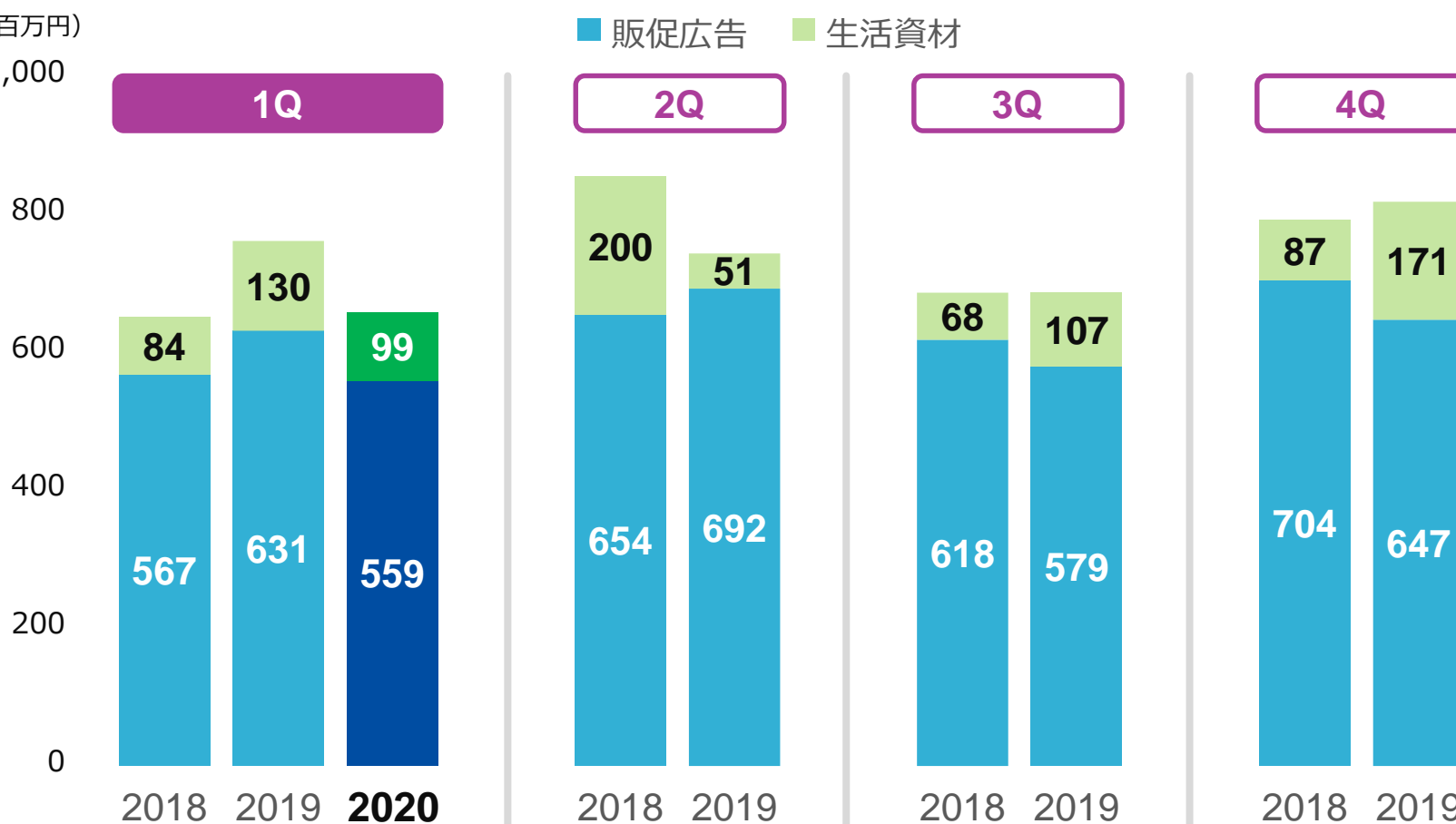
	2019.10 1Q (実績)	2020.10 1Q (実績)	対前年同期比 増減率 (%)	2020. 10 通期計画	進捗率 (%)
売上高	761	659	▲13.4%	3,200	20.6%
営業利益	133	65	▲51.2%	497	13.1%
経常利益	133	65	▲51.1%	496	13.1%
当期純利益	96	44	▲53.3%	330	13.3%

四半期単位の売上推移

前年同期の売上高は大型の販促広告案件があったため、例年よりも多額であった。当第2Qは大型の広告案件に加え、生活資材・製品制作の受注が活発になる予定であることから、第2Q以降に売上の増加を見込む。

(単位：百万円)

1,000



当期の具体的な取り組み

受注拡大に向けた取り組み

- ✓ 販売促進用広告制作は、地域密着の営業活動により順調に推移。新拠点の名古屋、福岡においても広告代理店を中心に安定した受注を獲得。
- ✓ 上場後の新たな取り組みとして、メーカーなどのエンドユーザーに対する積極的な営業活動を展開し、受注を獲得。
- ✓ 第2Qに不動産関連の大型の広告案件が確定しており、一定期間継続の見込み。
- ✓ 当期よりインターネットを活用した宣伝活動を強化し、インターネットを通じた受注が伸長。引き続きウェブマーケティングの強化に努める。

生産効率化への取り組み

- ✓ 効率的でスピーディな生産を目指し、顧客から受注があった場合に即座に対応可能な生産体制の構築に取り組む。これにより、労務費の削減を実現するとともに受注ベースを拡大させ、更なる事業拡大を目指す。

株主還元方針

当社の配当政策は、株主の皆様に対する利益の還元を経営上の重要な施策の1つとして位置づけており、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

上記の方針のもと、当期の業績の動向及び財政状態を総合的に勘案し、2020年10月31日を基準日とする剰余金の配当（期末配当）の予想につきましては、1株につき50円00銭とさせていただきます。

	2019.10月期	2020.10月期
期末配当金	50円 (実績)	50円 (予想)

參考資料

企業理念 より良い働きを通じて全従業員の物心両面の幸せを創造し社会へ貢献しよう

事業内容 販売促進用サインディスプレイの制作
屋外用大型サイン・広告の制作
建物の内装、インテリア用品の出力、制作
広告企画および制作に関する提案業務

代表者 代表取締役社長 和田山 朋弥

設立 1985年10月

資本金 2億8千6百万円

本店 大阪府大阪市西区

事業所 大阪、東京、横浜、名古屋、福岡

従業員数 正社員：183名（2020年1月末現在）

上場証券取引所 東京証券取引所マザーズ（証券コード：7804）

上場日 2019年7月24日

「東西大都市」で「営業・連携生産体制」保有

大阪本店 (大阪市)



東京本社 (東京都港区)
3Dスタジオ併設



福岡営業所 (福岡市)



名古屋営業所
(名古屋市)



ニコール事業部 (横浜市)
ワイドフォーマットスタジオ併設



**大阪・東京・横浜・名古屋・福岡の都心部にプリンター設備を配置。
24時間生産体制で出力サービスを展開**



100台以上の生産機械によって 多種多様なサインディスプレイ製品を制作

Mimaki 3DUJ-553

フルカラーUV効果インク
ジェット3Dプリンタ



EPSON P20050

水性インク出力機



Mimaki JFX500

フラットベッドUVインク出力機



HP LX360

ラテックスインク出力機



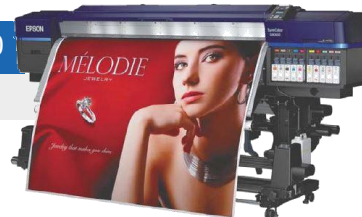
FOTOBA XLD

カッティングマシン
(ロール・シート印刷物対応)



EPSON S80650

溶剤インク出力機



EFI Vutek 5r

スーパーワイドUVインク出力機



HP XP5100

スーパーワイドUVインク出力機

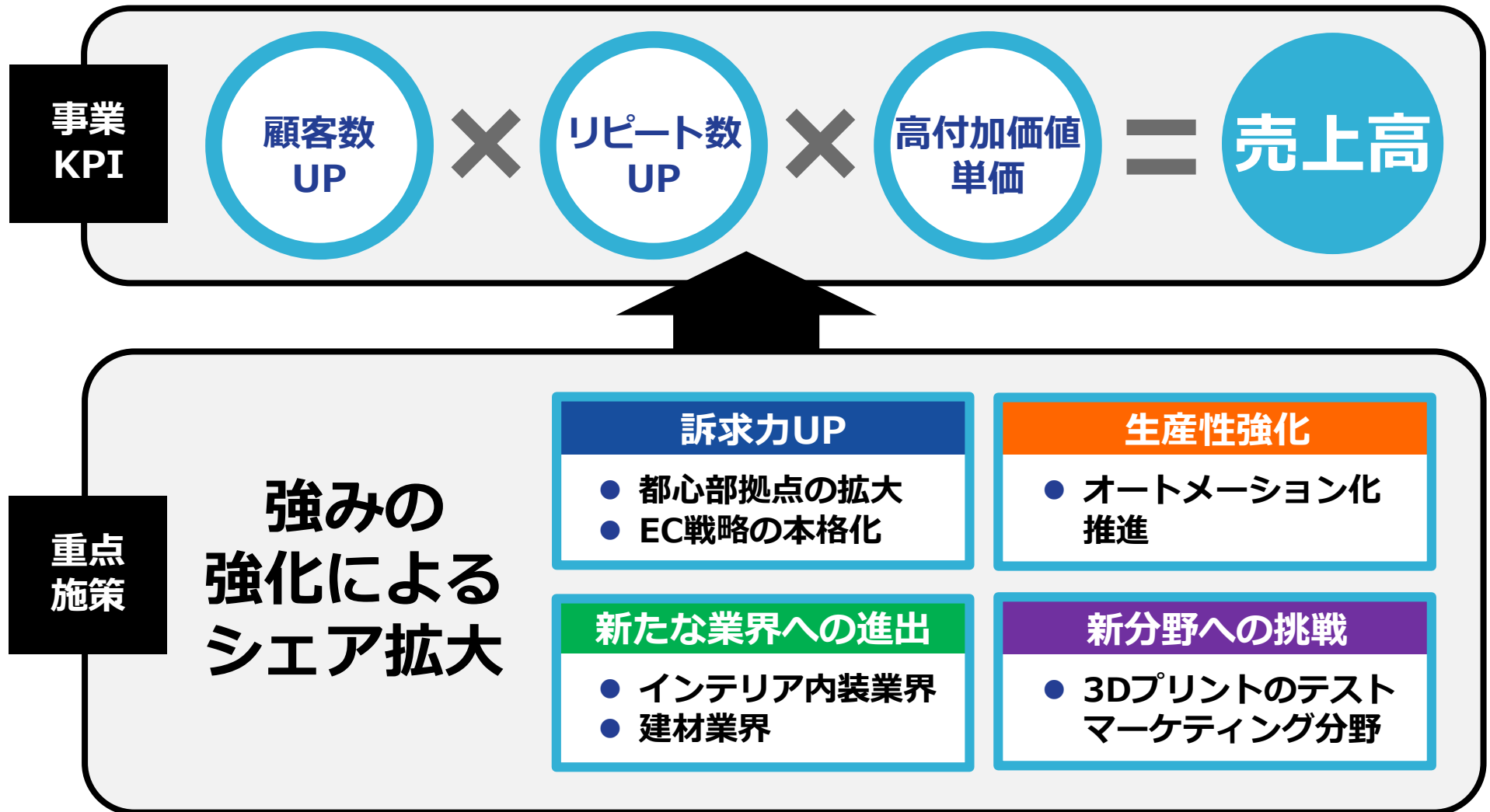


Kongsbelg XP

超高速マルチカッティングマシン

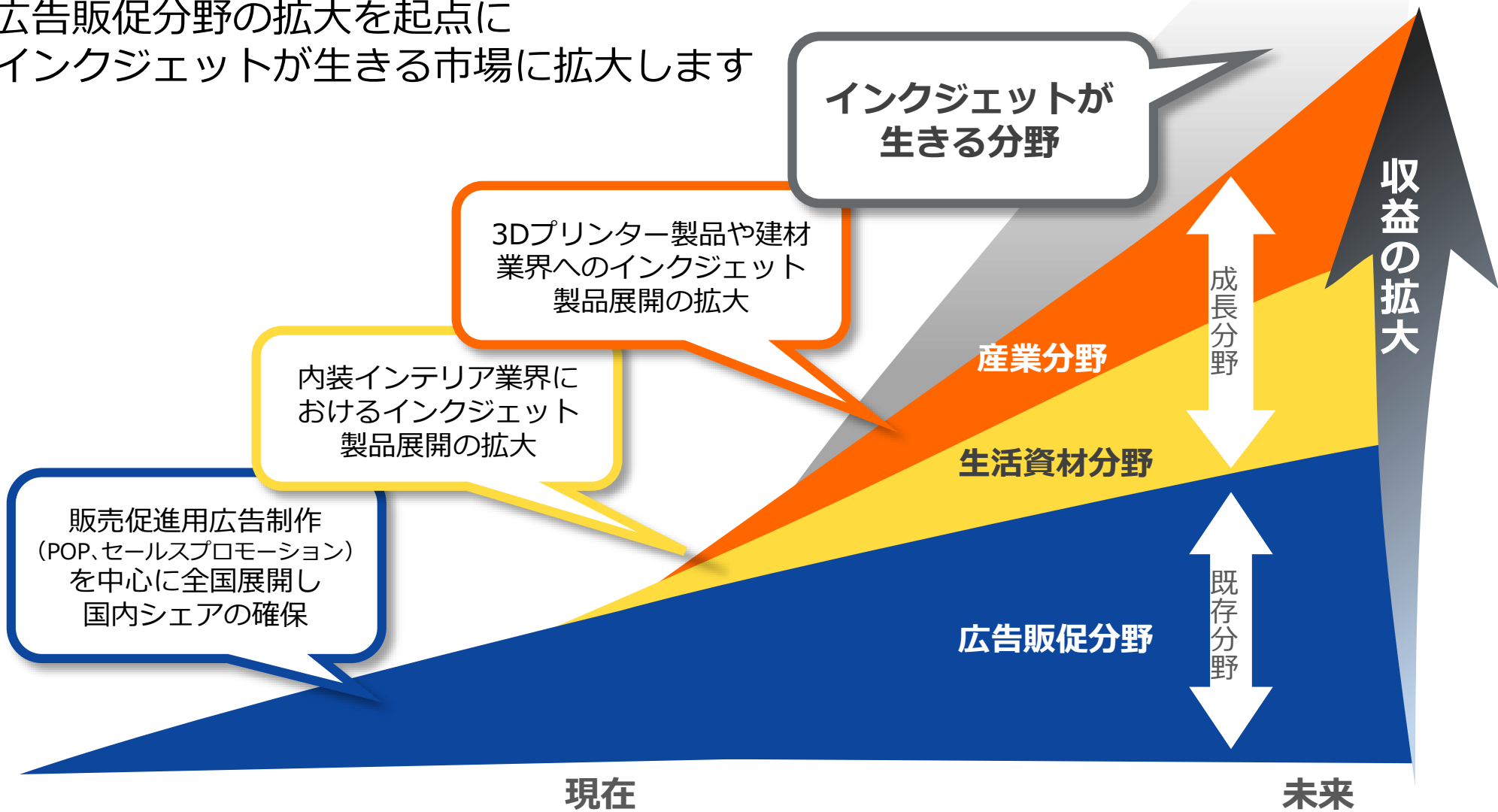
他にも、Mimaki UJV55 (UV機)
Mimaki UJV500 (UV機)
Mimaki JV300 (溶剤機)
等、合計88台の出力機を保有しています。

「独自の付加価値サービス」を提供し、リピーターを増やす

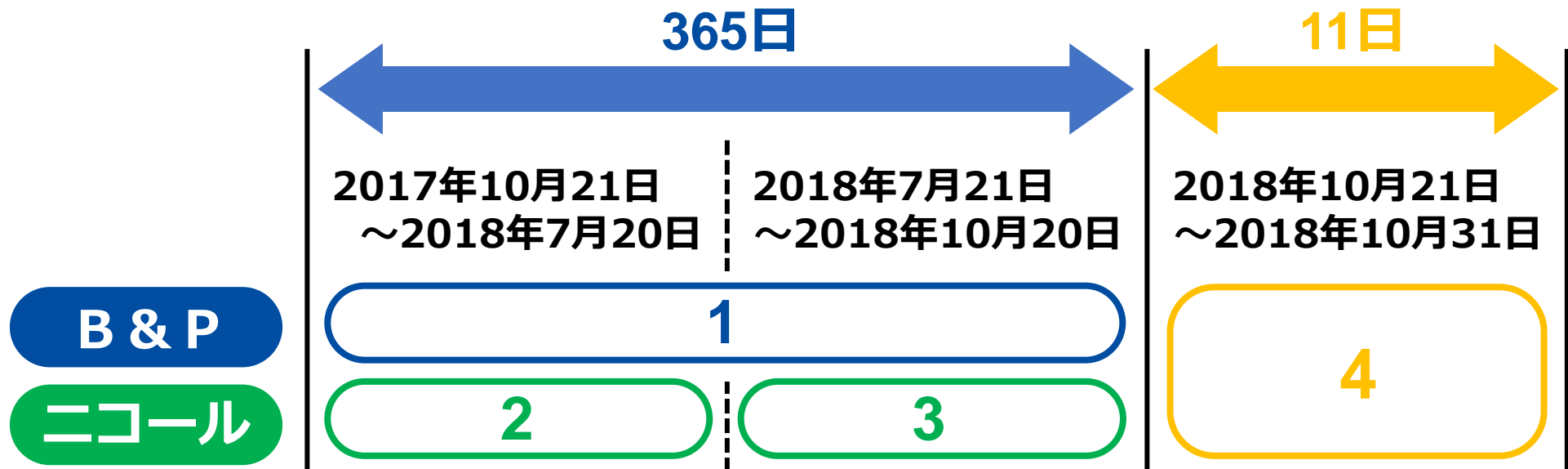


「既存事業の拡大」と「成長事業への投資」

広告販促分野の拡大を起点に
インクジェットが生きる市場に拡大します



2018年10月期 参考数値に関するご説明



$$\text{単体決算} = \textcircled{1} + \textcircled{3} + \textcircled{4}$$

$$\text{連結決算} = \textcircled{1} + \textcircled{2} + \textcircled{3} + \textcircled{4}$$

$$\text{連結決算 (参考数値)} = \textcircled{1} + \textcircled{2} + \textcircled{3}$$

*当社は比較可能性を確保する観点から、2017年10月21日から2018年10月20日までの連結損益計算書の金額を参考金額として、以降の損益項目について比較を行います。これは、2018年10月期の単体損益計算書には、2017年10月期において連結子会社であった株式会社ニコールを2018年7月21日付で吸収合併したため、吸収合併実施前の株式会社ニコールの損益が含まれておらず、また、前事業年度は決算日変更による変則決算を行っているため、前事業年度の会計期間が2017年10月21日から2018年10月31日までとなっているためです。

将来の見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。